

西胆振の医療を考える



室栄高生が「一日実習」

高校生を対象にした一日医療体験実習が6日、室蘭市知(前田征洋院長)で行われ、

年の西胆振の医療問題と解決策」をテーマにグループワークを進めた。

室蘭栄高校の生徒らが、グループディスカッションを通して地域医療が抱える課題とその解決策を考えたと。旭川医科大学が地域に根ざした医療人育成を目指す高大病連携事業の一環。医療職希望の室栄高の1、2年生10人が、2班に分かれて「2035

将来は医療が不足する地域のために働きたいと考えている高橋竜勢さん(17)は「自分たちが成長してから降りかかってくる問題を知ることができて良かった」と話した。このほか、動物の臓器を使った模擬手術なども体験した。

(菅原啓)